

# 愛犬と安全・健康・快適に暮らす住まいの工夫 ～愛犬の居場所（ドッグスペース）を考えよう～

新築・リフォームの際にぜひ考慮したいのが、愛犬が落ち着いて過ごせたり、自由に遊ぶことのできるドッグスペースを確保すること。リビングルームと隔ることで、犬の苦手なお客様が来られても安心です。今回は、専門家のアドバイスによりステキなドッグスペースを設計された2邸をご紹介します。

## リビングと庭が自由に行き来でき、 愛犬も大喜びのドッグスペース！

キャンキャン鳴くからと孫が名付けた愛犬キャンは、我が家の3代目のワンちゃん。2代目までは庭と玄関で不便をかけていましたが、愛犬との住まいづくりが得意な浅野建設・和田専務のアドバイスでリビングの一部をドッグスペースにリフォーム。ドアを開ければ庭とドッグスペースが自由に行き来できるので、キャンも大喜びです。私も安心してお客様がお迎えできるようになり、リビングで過ごす時間が楽しめるようになりました。



広島県広島市 K邸  
ワンちゃん…キャン(シェットランドシープドッグ)  
11歳♂

## 待望のインナーテラスと 広いドッグランで元気に駆け回る夢が実現！

家を新築すると決めた時、愛犬ノワとフランのために広いドッグスペースをつくってあげようというのが家族全員の意見でした。仕事の関係上、お留守番が多いノワとフラン。今まで住んでいたマンションでは、手狭なリビングに閉じ込めているようで、いつも申し訳ない気持ちでいっぱいでした。桐野建設の桐野社長のアイデアのおかげで、天気によらずに左右されないインナーテラスと広々としたドッグランが実現し、愛犬も家族も大満足！もう、お留守番もへっちゃらだね？



兵庫県神戸市 A邸  
ワンちゃん…ノワ(トイプードル)10歳♂  
フラン(イングリッシュコッカーズ(ニエル))9歳♀

床と腰壁はお手入れがしやすく、水にも強いタイル床を使用。



ドアを開ければ、庭とつながり、キャンの行動範囲が広がるように設計。腰壁から上には、消臭性能と調湿性能を持つ壁材を使用。



作りつけのゲートは90度曲がるので、ドッグスペースを広げる時には壁側に寄せられます。独立式ゲート(市販のもの)を組み合わせると、リビングの半分までの広々としたドッグスペースになります。



作りつけのゲートは可動・伸縮タイプを使用。



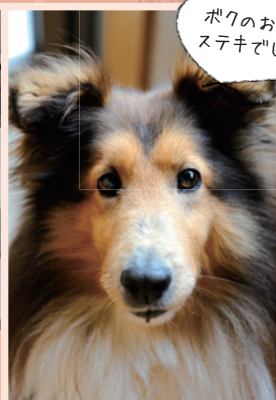
お留守番の時には、ゲートを閉めていくと事故防止にも役立ちます。また、犬の苦手なお客様がみえてもゲートを閉めることで安心していただけます。



玄関前には、キャン用の水栓柱を設置。お湯が使ってシャワー水栓もついているので、暖かい日は外でシャンプーもできるようになりました。



庭までの階段は、キャンの体格を考えて段差の高さ(蹴上げ)と奥行き(踏みしろ)を設計。



ボクのお家、ステキでしょ！

広く明るく設計されたドッグスペース。ドッグラン側は全面ガラスを採用し、外で遊ぶノワとフランを眺められます。暑さ対策として専用のエアコンを設置し、壁には消臭機能をもつ壁材を使用。テラス内に水栓を設置し、シャンプー＆お手入れも可能。



玄関横にインナーテラス(ドッグスペース)を配置。玄関を入るとすぐドアがあり、ドッグスペースと直結しています。



床はタイル床を採用。遊んで動き回っても滑りにくいタイプを選んでます。



ドッグスペースはお気に入りの場所なの。



リビングとドッグスペースはガラス戸で間仕切り。普段は自由に行き来でき、来客の際などには仕切ることができます。



インナーテラスからデッキと階段を通って行くと…



ドッグランでいっぱいあそぶよ！

1区分分の土地が、まるまるドッグランに！ノワとフランにとって、遊びきれないくらいの広さが確保されています。